

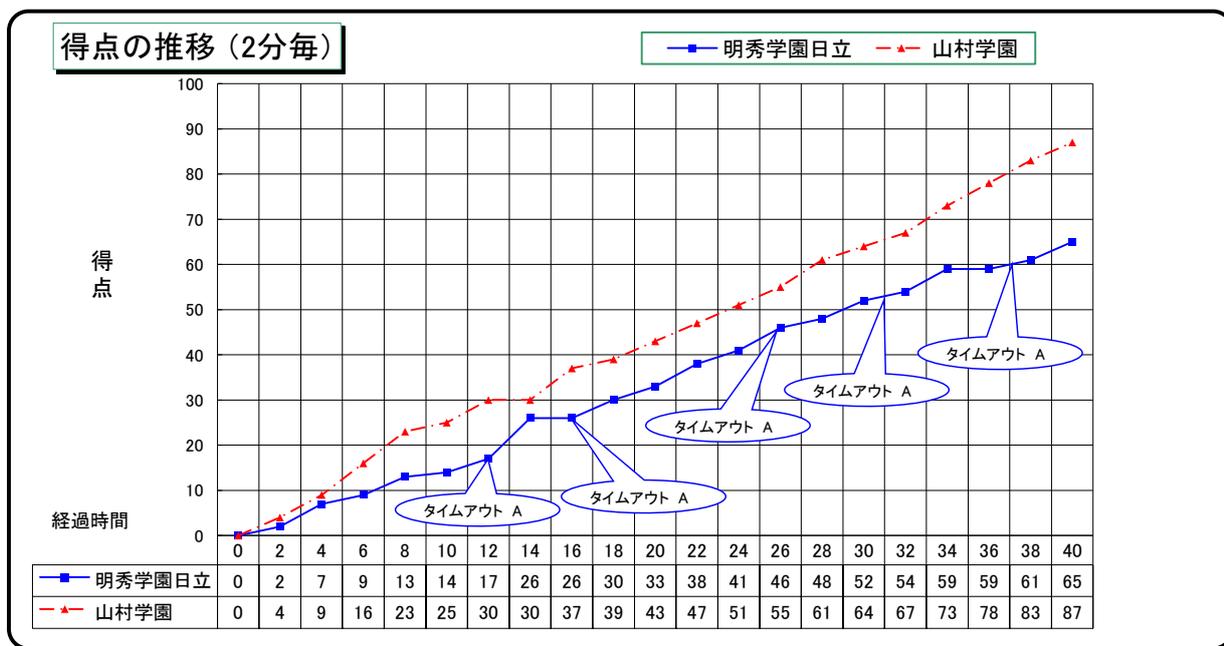
# 平成23年度 第22回 関東高等学校バスケットボール新人大会 【女子】<準決勝>

平成24年 2月12日(土)	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	大会2日目	Aコート	第1試合 9:30~													
<b>&lt;チームA&gt;</b> <b>明秀学園日立</b> 茨城		65 { <table border="0"> <tr><td>14</td><td>1Q</td><td>25</td></tr> <tr><td>20</td><td>2Q</td><td>18</td></tr> <tr><td>18</td><td>3Q</td><td>21</td></tr> <tr><td>13</td><td>4Q</td><td>23</td></tr> </table> } 87		14	1Q	25	20	2Q	18	18	3Q	21	13	4Q	23	<b>&lt;チームB&gt;</b> <b>山村学園</b> 埼玉	
14	1Q	25															
20	2Q	18															
18	3Q	21															
13	4Q	23															
主審: 田之口 晃士(山)		副審: 星野 由貴(群)															

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	稲葉 夏海	16		7	2	4
◎	5	大貫 詩織	12	1	4	1	1
◎	6	中尾 友美	15		7	1	4
◎	7	柳沢 夏希	16	4	2		1
◎	8	田崎 由真	6		3		3
	9	中川 佳苗					
	10	小田部なな					
	11	余多分茜音					
○	12	中野 由唯					2
	13	友部 広海					
	14	大山 千晴					
	15	小野紗也加					
	16	堀井美沙子					
	17	福田 恵梨					
	18	岡野 早紀					
コーチ 筑波 大							
合計			65	5	23	4	15

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	増岡加奈子	25		10	5	1
◎	5	上原もなみ	7		3	1	3
◎	6	落合 里夏	20	4	4		1
◎	7	鶴田 梨乃	17	1	5	4	5
◎	8	伊東 澄	16		8		1
	9	佐藤 朱莉					
	10	太田 絢奈					
	11	土屋 早織					
	12	脇川 沙貴					
	13	真渡 未来					
	14	内田 彩織					
○	15	佐藤 楠採	2			2	
	16	坂本 共江					
	17	岡澤 怜奈					
	18	高橋 伶奈					
コーチ 下田 宏吉							
合計			87	5	30	12	11

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート(本数) / 2P:2点シュート(本数) / FT:フリースロー(本数) / Foul:パーソナルファウル



**戦評** 記入者: 大内 祐輔

第1P, 両チームともにハーフコートマンツーマンでスタートする。序盤、明秀日立(以下明秀)は⑥中尾にボールを集めインサイドでの得点を狙う。一方、山村(以下山村)は⑥落合、⑦鶴田にパスを捌き1対1から果敢にシュートを狙い、これを手堅く沈める。ディフェンスから攻めていく山村はタイトな守りと確実なディフェンスリバウンドから速い展開に持ち込み、ゲームを支配し始める。ディフェンスで強さを見せた山村がこのピリオドを制し、25-14と11点リードで第1P終了。

第2P, 明秀が厳しいディフェンスからボールを奪うと、⑦柳沢が連続して3p(シュート)を2本沈めて反撃を開始する。山村は明秀のディフェンスの前にターンオーバーを連発してしまう。残り3分、明秀④稲葉がバスケットカウントを決め、3点差まで詰め寄る。しかし、山村も意地を見せ、⑥落合が3p(シュート)を沈めると平静さを取り戻し、安定したオフェンスを展開する。山村が43-34とリードを保ち、第2P終了。

第3P, 山村がディフェンスをオールコートマンツーマンに変え、点差を引き離しにかかる。山村は高い位置から積極的にボールマンを潰しにかかるが、明秀もディフェンスの網を巧みに突破し、山村に主導権を握らせない。正確なパッシングから⑦柳沢の3p(シュート)、④稲葉のポストプレーで一時的7点差とするが、それ以降点差を縮めることができない。一貫して⑦鶴田にボールを集め、堅実に得点を重ねた山村が64-52とリードを広げて、第3P終了。

第4P, 開始早々に山村⑥落合が3p(シュート)を決め、更なる突き放しにかかる。簡単に引き下がれない明秀は⑥中尾のバスケットカウントでなんとか追いつくも、山村の安定したゲーム運びになす術がない。オフェンス、ディフェンスともに高い能力を見せた山村が明秀を87-65で下し、決勝進出を果たした。